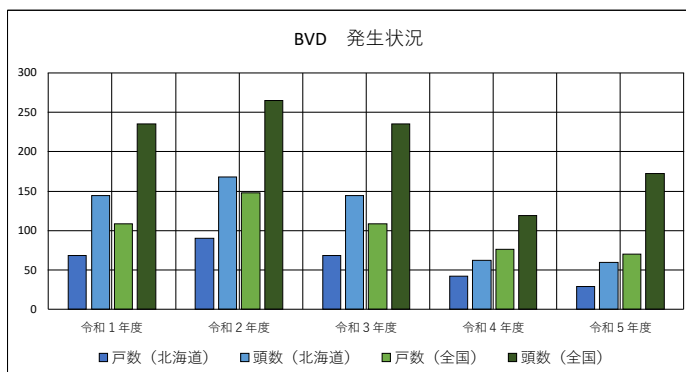


BVD とは？

みなさまこんにちは。望月です。

ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルス ジャパン株式会社様主催の BVD ワクチン研修に参加させていただくための機内です

なので、復習がてら BVD に関して簡単に書かせていただこうかと思います。



年度	戸数 (北海道)	頭数 (北海道)	戸数 (全国)	頭数 (全国)
令和1年度	68	144	109	235
令和2年度	90	168	148	265
令和3年度	68	144	109	235
令和4年度	42	62	76	119
令和5年度	29	60	70	172

そもそも。牛ウイルス性下痢 (BVD) をご存じでしょうか？

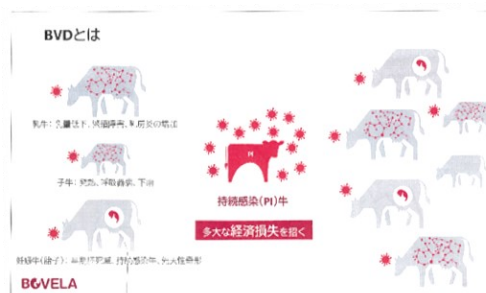
その名の通り、牛ウイルス性下痢ウイルスにより引き起こされる感染症で、日本では家畜伝染病予防法により、届出伝染病に分類されています。世界中で多数の発生があり、日本では1967年に初めて分離されたウイルスです。

令和に入ってから発生状況 (農水省統計資料) によると、減少傾向にはありますが、北海道での発生が過半数を占めている状況です。

症状は大きく分けると急性感染による症状 (TI) と持続感染 (PI) によるものに分類されます。

急性感染 (TI)

- ・一過性のウイルス感染
- ・子牛から成牛で呼吸器病、下痢、乳量低下、免疫抑制、重篤なものでは粘膜病等さまざまな病態を引き起こします。



ボベク勉強会スライドより

持続感染 (PI)

- ・妊娠牛が妊娠 30~120 日齢で感染すると、胎子が体内でウイルスの存在を許容する PI 牛となり
- ・PI 牛は生涯、大量のウイルスを排泄し続けます
- ・無症状の個体もおおいが、発育不良は下痢、呼吸器病を呈します

このように、一旦 PI 牛が農場に入り込むと大量のウイルスをまき散らし、TI 牛や次の PI 牛を生み出してしまう可能性があります。また、PI 牛は顕著な症状を示さない場合も多く、発見が遅くなり、次の PI 牛を生み出してしまう可能性もあります。

発見が難しいため、BVD の農場からの清浄化には移動や導入の際の検査やワクチネーションが重要になってきます。

次回は、研修で勉強してきた内容を書かせていただこうかと思います。

望月